

広島大学国際センター日本語研修コース
第52期(2011年 4月~9月)



成果発表会 2011年 9月 8日

目次

1. 日本食 ウィジャクソノ・インドラ 1
2. 私のふるさと、パレンバン ユリウス 5
3. 私の日本での生活について イアム・ピロム 10
4. 私の国、パキスタン ジャドゥーン・ワカール・アジーム 14
5. なぜ中国語を読み書きできませんか シャレン・タイ・ウェイ・ウェイ 17

日本食

ウィジャクソノ・インドラ

みなさん、こんにちは。私はソニーと申します。四月に日本へまいりました。日本にはたくさんおもしろい食べ物があります。日本へ来る前にすしやさしみを食べたことがあります。が、たくさんのお日本食を食べたことはありませんでした。

みなさんは私に「なっとうを食べてみたらいいです」と言っていました。だから食堂でなっとうを食べました。なっとうはくさくこ、まずいです。好きではありません。

はじめて西条へ来たとき、キューターが食べ物を買っていました。「これは何ですか」と聞きました。「おにぎり」と言っていました。おにぎりがわからなかったのに私も買いました。おにぎりはおいしかったです。さんぞくのおにぎりを食べました。さんぞくのおにぎりは大きくて、おいしかったです。おにぎりの中に肉やうめぼしなどがはいっていま

した。さんぞくで大きなとりにくも食べました。大きなとりにくはきょうみぶかくて、おいしいです。

日本語のじゅうぎょうが午後もあるのじつも食堂で食べています。はじめて食堂で食べたときはいろいろおもしろかったのですが、今はつまらなくなりました。ずっとごはんとカツを食べています。べつ^{べつ}の食べ物をあまり食べません。おなかがいっぱいになりませんから。

私のホストファミリーはとてもやさしい家族です。私に日本食について教えてくれます。じっしょに広島市でおこのみやきを食べました。おこのみやきのみせはインドネシアの食べ物屋と同じようです。おもしろいみせでした。

時々自分でりょうりします。ホストファミリーと友達にりょうりを作ってあげます。でも日本食は作れません。インドネシアとアメリカの食べ物がちょっとできます。ホストフ

アミリーと友達にナシゴレンとたまねぎフライを作りました。

たくさん人の日本食が好きですが、時々ハンバーガーが食べたくなります。だからよくマクドナルドへ行きます。はじめて日本でマクドナルドへ行ったとき、日本語が話せませんでした。ちゅうもんでできませんでした。「はい、はい、はい」とだけ言えたから、私はわからなはいこをもらいました。「ええ、これは何ですか」と言いました。はこはむりょらごはありませんでした。ちょっとたいへんでした。はこの中にコカコーラのグラスがありました。私はグラスがほしくなかったのですが、シャレンさんがほしがりました。だから私はシャレンさんにグラスをあげました。

日本語をべんきょうしたので、今マクドナルドやベフのリストランでちゅうもんでできます。ちゅうもんできることはとてもたいせつだと思えます。外で食べられるようになりました。だからせんぶの先生にありがとうごさ

いましたと言いたいです。このじゅぎょうは
とてもじっせんてきでゆうようだと思ひます。

たくさんの日本食がおいしかったですが、
またたくさん食べ物を食べてみなければなり
ません。これでおわります。ごせいちょうあ
りがとうございました。



私のふるさと、パレンバン

エリウス

私のふるさと、パレンバンはインドネシアのスマトラ島の南部にあります。南スマトラ県の県庁所在地です。この町は有名な川で2つに分けられています。セベランウルとセベランイリルです。その川の別前はムシ川です。パレンバンの気候はわったいうるん気候ですが一年中だいたい29 - 32℃です。

昔、パレンバンに大きな王国がありました。スリウィジャヤと言う王国でした。パレンバンはこの王国の首都でした。その時、パレンバンはぶっきょうの中心でしたから、たくさんの人がここに勉強しに来ました。また色々な人がパレンバンにしょうばいをしに来ました。でもスリウィジャヤは11世紀にほかの国にせいふくされてなくなりしました。この王国の別前は今でも使われています。たとえばスリウィジャヤ大学やスリウィジャヤサッカークラブやスリウィジャヤこうくうです。ス

リウィジャヤの物語は歌になりました。ケン
ディンスリウィジャヤと言う歌です。

16世紀に、パレンバンダルサラムと言う新
しい王国ができました。この国はイスラムの
王国でした。オランダによってこの王国はせ
いふくされました。でも王族は今でも生きて
います。一人の王さま、スルタンマフムドバ
ダルディンIIせいはとても有名だったので、
パレンバンのくうこうの先前になりました。

パレンバンの文化の大部分はマレー文化に
をげんがあります。パレンバン語はマレー語
の方言ですが、ジャワ語のえいきょうをうけ
ました。いくつかのパレンバン語のたん語は
ジャワ語のたん語ににています。

ムシ川には有名なはしがあります。アンペ
ラと言うはしです。このはしは、セベランウ
ルとセベランイリルをつないでいます。そし
てこのはしをつくるためのしをんは日本から
もらいました。デザイナーも日本人でした。
アンペラはしのセベランイリルのがわにパレ

ンバン グランド モスク があります。南スマトラ
ラデーバン 大きいモスクです。18世紀にたて
られました。パレンバンのイスラム教徒たち
にはとても大切なたてものです。

パレンバンでーばん 有名な食べものは「ペン
ペク」と言います。ペンペクは魚とタピオ
カから作ります。とてもおいしいです。色々
なペンペクがあります。ーばん 有名なのは「
ペンペクカパルセラム」です。中にたまごが
入っています。スコッチエッグとにっています。

もう一つの有名な食べ物「ケルプク」で
す。これも魚とタピオカから作ります。いか
とえびケルプクもあります。あげるのとやく
作り方があります。やきケルプクの方があげ
ケルプクより大きいです。せんべいににしてい
ます。ケルプクはおいしくてシャキシャキし
ているので、食べはじめるとやめられません。
チュカをつけて食べるとおいしいです。チュ
カはあまくて、すっぱくて、スパイシーなソ
ースです。ペンペクもチュカと食べるとおい

しいです。

パレンバンに大ぎいサッカースタジアムがあります。名前は「ゲロラスリウィジャヤ」スタジアムです。インドネシアの2004年のこぎまつりのためにたてられました。2007年のアジアカップのセミファイナルはこのスタジアムで開かれました。SEA GAMES 2011の開会しきはここで開かれます。ゲロラスリウィジャヤは「スリウィジャヤフットボールクラブ」のほんをよちです。

インドネシアのぞくりフの日である8月17日にムシ川で「ビダルまつり」が開かれます。ビダルはとても長いボートです。長さには26メートルぐらいです。58人ぐらいのれます。彼らはいっしょうけん命にビダルをこぎます。一ばん早くゴールしたビダルがかちます。この日は学校でぎょうじがあるので、私は今までこの祭りを見た事がありません。

私は三年ぐらいパレンバンへ帰っていません。来年、インドネシアに帰った時ぜひパレ

ンバンへ行きたいです。ペンペクとケルプロク
が食べたいし、色々なおもしろいところへも
行きたいです。パレンバンはとてもおもしろ
い町です。もしみなさんがインドネシアに来
たら、ぜひパレンバンへ行ってください。

いじょうです。ごせいちょうありがとうご
ざいました。

私の日本での生活について

イラム・ピロム

みなさま、こんにちは。私はピロムと申します。カンボジアからまいりました。今から私の日本での勉強と社会の経験について話します。

まず日本語の勉強について話します。日本語のコースは六カ月のコースです。このコースはほんとうにおもしろくてたのしかったです。先生がたはたくさん教える経験があまりありますので、私たちがわからなかったときいろいろなやりがたでつづけてくれました。授業には学生が六人いました。国がちがうがら、生活の経験と文化とがながえかたもちがいます。しかし今では私たちはいい友だちです。教えるの外で日本語が使えるのですが、授業はいちばんいい日本語をねんしゅうするところだと思います。先生はいつも私たちにしんせつでした。先生いろいろどうもありがとうごさいます。

次に私の専門について話します。私の専門はこうとうきょういくです。がくぶは国際協力研究科です。いまのところ専門の勉強はまだ始まっていません。でも私のしどうきょうかんとよく会っていました。話はいつもけんきゅうと日本の社会生活についてでした。たくさん新しいちしきを教えてもらいました。先生どうもありがとうございます。

そして日本社会の経験について話します。まずりょうりについて話したいです。私はほかの多くの留学生と同じようになま魚を食べたことがありませんでした。日本人はさしみをたくさん食べます。だいたい五か月くらい日本に住んだあとで、今は私はさしみがすきになりました。日本のりょうりでは、てんぷらやたこやきなどがだいすきです。広島のゆめいな「おこのみやき」というりょうりもだいすきです。そのあじはカンボジアのりょうりと同じです。これらのりょうりは私にホストファミリーを思い出させます。私のホス

トファミリーはとてもしんせつながぞくです。
ひとばんホストファミリーの家に泊りました。
そのとき日本のりょうりも食べて、きれいな
山へ行きました。私はとて嬉しかったです。

それから住んでいるばしょについて話しま
す。私は国際交流会館に住んでいます。そこ
では毎日留学生とあって、話します。友だち
がたくさんいます。ときどきいろいろなむし
ちを見つけました。たとえば、くもやムカデな
どでした。それらのむしは私に私のかぞくと
国を思い出させます。国の家のあたりにはこ
のようなむしがたくさんいます。

よいごに日本の電車について話します。日
本の電車は便利でぎんだいてきです。国には
このような近だいてきなシステムがありません。
だから日本に来た時、私にはそのシステム
ムがわかりませんでした。まずい経験がニカ
いありました。まず宮島から西条までがえ
た時、私たちはくれへ行く電車にのりました。
だから一じかんくらいたっても西条へつしま

せんでした。そして、その時私たちはかいた
いちへがえる電車にのらなければなりません
でした。そこでかいたいちから西条までただ
しい電車にのりました。二回めはさいきん宮
島の花火たいかいに行った時です。行く時は
だいじょうぶでした。しかしがえりは広島駅
についての時私のはのりがえなければならぬと
思いました。そこでまたくれゆぎの電車にの
りそうになりました。ほんとうは、広島であ
りてしまった電車も、二十分後にのりがえた
電車も西条ゆぎでした。そのような経験があ
ったのに、日本の新しい生活はほんとうにた
のしいです。

ごせいちようありがとうございます。

私の国、パキスタン

ジャドゥーン・ワカール・アジーム

私の国にはパキスタンです。パキスタンはみなみアジアにあります。パキスタンのひがしにインド、きたにちゅうごく、にしにアフガニスタンとイラン、みなみにアラビア海があります。パキスタンは1947ねん8がつ14日にどくりこしました。パキスタンのめんせきは796960へいほうキロメートルです。じんこうは1おくへ千万人ぐらいです。

パキスタンのまごうはまよくとんです。ふゆはとてもさむいです。ちいさによつてちがいますか、10月から5月までです。-20℃のところもあります。ほくぶはとてもたくさんゆきかふります。ちゅうおうぶとなんぶのなつはとてもあついです。だいたい4月から10月までです。ときどき50℃になります。

パキスタンのこのようなかんまようは、たくさんのおいぶつをプレゼントしてくれました。インダスいるかや、ゆきひょうなどです。

ほくぶはきれいなけしきや、これからはず
すつくちようのため、かんこうのちゅうしん
です。ヒマラヤさんみゃく、ヒンズークシさ
んみゃく、カラコルムさんみゃくといたせ
かいのふつのおおきいさんみゃくがここ
あります。せかいで20ある700メートルいじ
ようの山のうち、8つがあります。k-2は
パキスタンにあるせかいで2ばんめにたかい
山です。せかいでいちばん大きいシアチェン
ひょうがには、なんきよくやほつまよくのつ
ぎに多いこおりがあります。

そして、いちばんふるい文明のいせきであ
るガンダーラやモヘンジョダロもパキスタン
にあります。文明のいちばんふるいまちとさ
いしょのだからであるタクシラもパキスタ
ンにあります。

パキスタンにはせかいでいちばん大きいの
うぎようのすいろがあります。それはパキス
タンのうぎようにいいゆたかなとちにしま
した。パキスタンのGDPの60%はのうぎよ

うです。のうぎょうといっしょにパキスタンのさんぎょうは、さかえてきました。

しきじりつはあまりたかくありません。57%ぐらいです。しかしいまでは、べんきょうしたい人がとてもふえて、大きい大学が400ぐらいになりました。

私のスピーチでいちばんたいせつなことは、私は、ほんごのせんせいたちにとてもかんしゃしているということです。せんせいがたはみんなとてもしんせつで、とてもちしきがあつて、おしえるのがじょうずです。私はとくにごとうせんせいにかんしゃします。じかんはとてもたいせつだとおしえていただきました。私をつよくしてくださり、かまんすることや、人をまづかうことをおしえてくださったのはまつむらせんせいです。私はごとうせんせいやまつむらせんせいをずっとわすれません。

なぜ中国語を読み書きできませんか

シャレン・タイ・ウェイ・ウェイ

こんにちはみなさま。私はシャレンタイです。私は中国系のブルネイ人です。中国ではなくブルネイが来ました。ブルネイの正式な名前は「ネガラブルネイダルサラム」です。ブルネイは小さくて静かな国です。人口は40万人ぐらいです。人口のやく十パーセントが中国系で七十パーセントがマレー系です。王国は東南アジアのボルネオ島北部にあります。

私が日本に来たばかりの時、友達は私が中国語を話すのに読み書きできないことにびっくりして、「中国語は分かるけど中国語の読み書きはできませんか。中国語には声調が四つある、て、読み書きがとっても大切ですよ。」と言いました。その時私もどうして私は読み書きができないのかをかんがえました。今から聞いてください。

子供の時に私はいつも英語を話しました。

兄弟とも英語で話しています。でも私は父とは簡単な中国語と英語のチャソボンで話します。母には簡単な中国語とマレー語と英語のチャソボンで話します。私は全部を中国語で話せませんでした。もし一つの言葉が分からないと、英語の言葉に変えます。

中国系ブルネイ人の多くの親は中国語が重要であると思っています。さらに中国系の人口は少ないですから中国語学校も多くないです。

祖父母とはブルネイマレー語と簡単な中国語で話します。さいしょは簡単な中国語で話しました。でもだんだんマレー語を使うようになりました。両親は仕事があります。だから英語を話すメイドをやといました。たぶん私と兄弟はいつもメイドのそばで、英語をたくさん話したと思います。

私の学校も英語での教育でした。じつは私の父は中国語学校が良いと思っていました。母はだめだと言っていました。最後は母の意

見が通りました。教室で、同級生もず、と英語とマレー語を話していました。この状況は当時のブルネイでは一般的でした。

私の祖先は中国人ですが、私は中国語の読み書きができません。だから他の人からは私は奇妙に見えると思います。今、日本語を勉強しています。

広島大学には中国人が多いです。中国語を話す機会もたくさんあります。でも私は日本語で頑張りたいです。もし私が中国人の友達と話す時でも私は日本語で話したいです。私は中国語が分かると言いたくありません。なぜなら、彼らは私が中国語が完全にできませんと思うからです。

私は中国語が勉強したいかどうか、自分でも分かりません。中国語の四つの声調はちょっとたいへんです。中国語には「ま」が四つあるからです。「媽」は母です。「麻」はあさです。「馬」はうまです。次の「罵」はなじるです。

母か、麻か、馬か、なじるかが時々分かりません。私にとってはこの「ま」は似たように聞こえます。中国人としてのアイデンティティーもあやふやです。だから中国人の文化も習いたいです。でも私は中国語が分かるだけで十分だと思います。

以上で、私のスピーチは終わりです。ごせ
いちょう、ありがとうございます。先生が
た、半年間ありがとうございます。